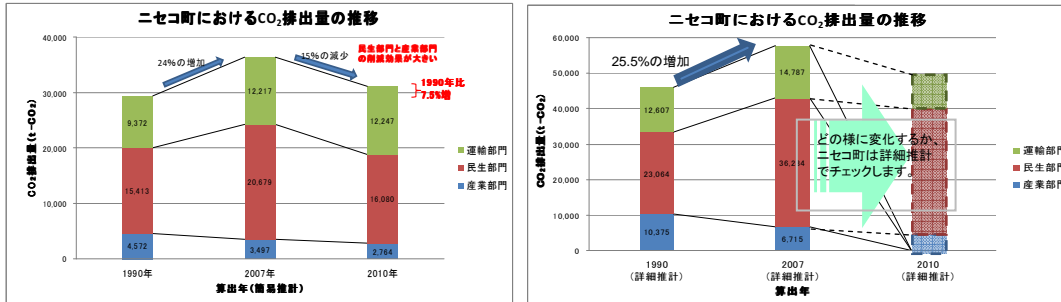


(ニセコ町)環境モデル都市提案書(様式2)

環境モデル都市としての位置づけ

「国際的な観光リゾート」として認知度が高いニセコ町の魅力は、豊かな自然、農業という基幹産業、良好な景観といった地域資源がベースになっています。これからの時代には、これらの自然、農業、景観などの地域資源を守り、次世代への引き継いでいくことが重要だと考えます。今後ニセコ町は、既存の地域資源を守りさらに活かしていくために、地球温暖化対策を推し進め、地球環境問題に積極的に取り組むことで、「みらい」へつなげる「せかい」につながる環境国際リゾート・ニセコへと発展させていきます。

現状分析



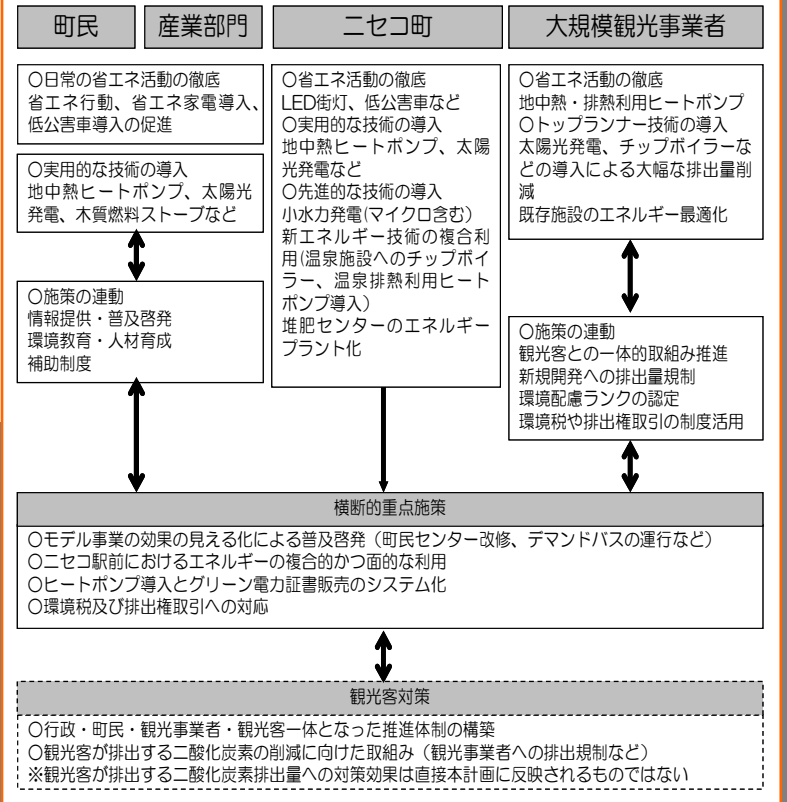
■1990年度と2007年度及び2010年度のCO₂排出量の増減比較
ニセコ町は、町民に対する省エネ活動の啓発活動や公共施設の地中熱ヒートポンプ等の再生可能エネルギーの積極導入、デマンドバス導入といった環境対策施策を、様々な分野で横断的に、かつ町民と共に進めてきた。その結果民生部門及び産業部門のCO₂排出量が大きく減少し、2010年(環境省算出データ)では、総排出量が31,090t-CO₂となり、2007年には1990年比24%増加したCO₂を7.5%までに削減している。しかし、簡易推計と詳細推計では、CO₂排出量に若干の違いが見られるため、ニセコ町では今後随時詳細推計を用いて、比較検討しPACDサイクルを継続的に回す。

地域の活力の創出等

- CO₂排出削減と持続可能なまちづくり: 環境リゾート地として持続可能発展が可能。
- 多様な関連産業の創出と地域の活性化: 環境関連産業が生まれ、雇用の創出と地域経済の発展が可能となる。
- 世界に比類ない大環境観光地の形成と多様な環境: 「食のニセコブランド」の確立とともに、環境と観光を融合した事業の展開、各宿泊施設の取り組みなど、新たな観光資源と産業の創出が期待できる。
- 行政、町民、観光事業者、観光客一体となった推進体制による生活の質の高いまちづくり: 世界最高水準の環境を享受できるニセコで暮らしたい人が増える。
- 質の高い生活と安全・安心なまちづくり: エネルギーの自給自足を進めることで、安心・安全なまちづくりが推進される。

削減目標等

	目標年度	現状	短期	中期	長期
	1990年度	2007年度	2016年度	2020年度	2050年度
産業部門	10,375	6,715	-131.6	-263.2	-658.0
民生部門	23,064	36,284	-10,318.4	-17,534.3	-25,932.3
運輸部門	12,607	14,787	-1,196.3	-3,099.7	-4,848.8
CO ₂ 削減量合計			-11,947.0	-20,897.2	-31,439.1
現状推移ケースによるCO ₂ 排出量の将来推計			54,741	53,131	37,715
CO ₂ 総排出量			42,794	32,234	6,276
対1990年度増減率(%)			-7%	-30%	-86%



(市区町村名)環境モデル都市提案書(様式2)

国際環境リゾート都市・ニセコ スマートチャレンジ86

ニセコアンヌプリ

羊蹄山

